

きっとあなたの身近にも...



作成



# 身近にいるキケンな生物



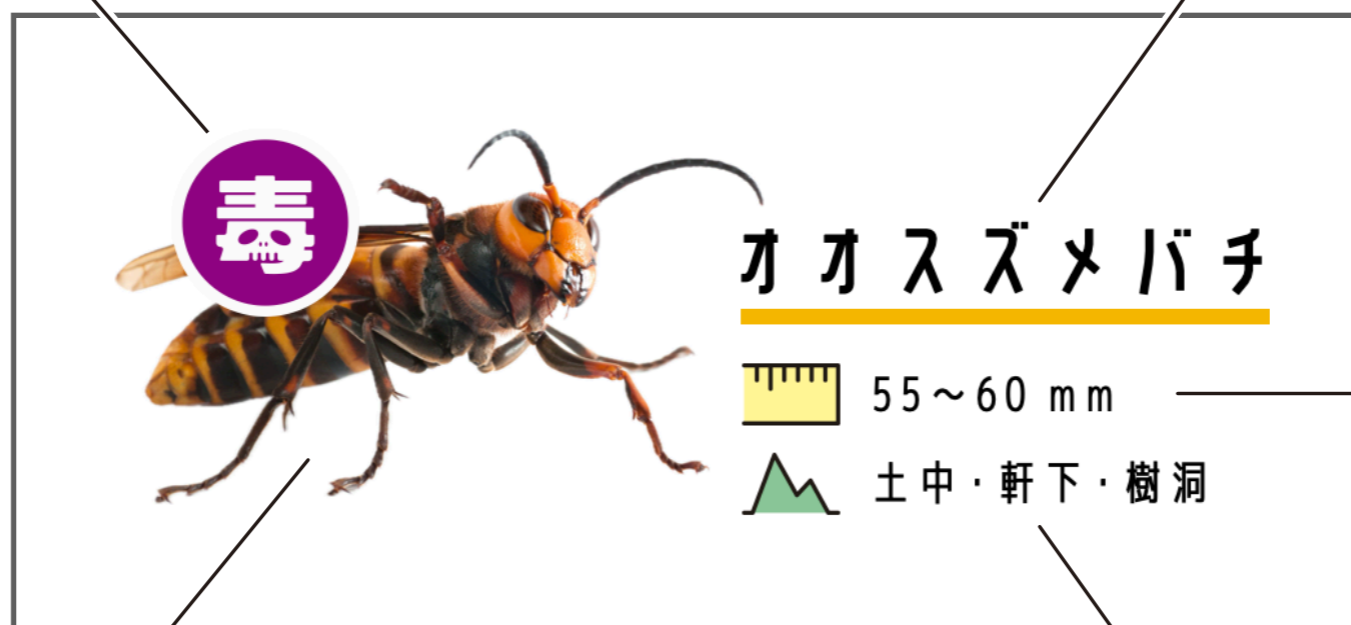
- 地球には、色や形、大きさもくらし方もちがうたくさんの生き物が生きています。
- 中には、毒をもっていたり、さわるとけがをするような体のつくりをしているものもいます。  
それは多くの場合、自分を食べようとする敵から身を守るために、  
**生き物が長い時間をかけて身につけたもの**なのです。
- そんなちょっとあぶない生き物たちは、山や川だけではなく、  
実は、**町の中や家の近くにもひそんでいます。**




# 冊子のみかた ①


危険マーク

生き物の名前



オオスズメバチ

 55~60 mm

 土中・軒下・樹洞

大きさ

生き物の見た目

おもな生息場所

## 冊子のみかた ②

### 危険マーク



毒をもっている  
生き物につくマーク



腐みついてくる  
生き物につくマーク


## ハチのなかま ①


**毒針に注意!**




Yasunori Koide, 2017, CC BY-SA, 改変


### オオスズメバチ

 55~60 mm

 土中・軒下・樹洞

### キロスズメバチ


 20~30 mm


 軒下・樹洞



Animalia, CC BY-SA, 改変

### アシナガバチ

 12~26 mm

 軒下・樹上




Yasunori Koide, 2011, CC BY-SA, 改変


## ハチのなかま ②



Toshihiro Gamo, 2013, 改変

### ミツバチ

 12~14 mm

 樹上・軒下・樹洞

毒針をもっているのは  
メスだけ!

もしも、これらのハチに  
刺されてしまったら...


症状 | 激しい痛み 腫れ  
アナフィラキシーショック


対処 | 安全な場所へ避難する。  
流水や氷で冷やす。  
呼吸異常があるときは  
救急車を呼ぶ。

## へビ①



### アオダイショウ

 100~200 mm


 草地・樹上

症状 | 出血 腫れ ばい菌

対処 | 水でよく洗って消毒する。  
腫れがひどいときは  
病院へ。

Yasunori Koide, 2009, CC BY-SA, 改変

### マムシ

 45~60 mm

 水辺



症状 | 激痛・腫れ・紫斑  
重症化すると命に関わる

対処 | 動かず・走らず・安静に。  
患部を**心臓より低く**保つ。  
医療機関で**血清投与**が  
必要になる場合も。

K s, 2002, CC BY-SA, 改変

## 牙に注意!

## へビ②




頸腺(けいせん)



Yasunori Koide, 2011, CC BY-SA, 改変

## 牙に注意!

### ヤマカガシ

 80~150 mm

 水辺

症状 | 無症状の場合が多い  
血が止まらなくなる  
**急性腎不全・脳内出血**

対処 | 噛まれたらすぐ病院へ。

## 生き物の毒(どく)の話

ヤマカガシというへビは、相手に噛みついて毒を注入するだけでなく、頸腺(けいせん)から毒をとばすこともあります。

この頸腺にある毒は、ヤマカガシが毒をもつヒキガエルを食べることで体にたくわえているものです。ヒキガエルがいない地域にいるヤマカガシは、この毒をもっていません。でも、そういうヤマカガシにヒキガエルを食べさせると、あとから毒をもつようになります。つまり、ヤマカガシの首の毒は、生まれつきではなく食べ物から身につけるのです。

さて、ここでクイズです。  
ヤマカガシ以外にも食べ物から毒を身につける生き物は、実はたくさんいます。では、次の4匹のうち、食べ物から毒を身につける生き物はどれでしょう!

- A. ジソズイ      C. イイ  
B. クラゲ      D. フグ

ちなみに、この生き物を養殖(ようしょく)で育てるとき、毒が入っていない人工のエサをあげることで、毒をもたせないようにしているよ! クイズの正解は次のページ

## 両生類

触ったら目を  
こすらないで!

毒



Sebastian Voitell, 2020, CC BY-SA, 改変

おなかのまようは  
住んでいる地域でちがう!

### アカハライモリ

70~140 mm

水辺

### ヒキガエル

60~180 mm

水辺



Yasunori Koide, 2009, CC BY-SA, 改変

### アマガエル

22~45 mm

水辺



Greg Peterson, 2008, CC BY-SA, 改変

## ムシ①

噛

毒



Yasunori Koide, 2011, CC BY-SA, 改変

### ムカデ 漢字は百足

70~130 mm

草地・石の下

症状 | 激痛 腫れ 発熱

対処

42~45℃のお湯で  
温める。

ひどい腫れや全身症状が  
ある場合は病院へ。

### セアカゴケグモ

10 mm

地面近くの間隙・茂み

症状 | かゆみ 痛み 発熱

対処

流水で噛まれたところを  
洗う。

小児・高齢者は早めに  
病院へ。

毒

噛



KKPCW, 2020, CC BY-SA, 改変


## ムシ②

長そで・長ズボンで  
身をもろう。



Yasunori Koide, 2017, CC BY-SA, 改変

## マダニ


 3~8 mm


 草地

症状 | 感染症

対処 | マダニの体液成分が体に入ってしまうため、  
**無理にとろうとしない!**  
病院で除去してもらう。

## ケムシ(チャドクガなど)

 25~75 mm

 樹上・草花の上

症状 | かゆみ 痛み 発疹

対処 | **絶対にこすらない!**  
テープでペタペタして、  
流水で洗う。  
冷やして病院へ。



云中鸟, 2015, CC BY-SA, 改変


## ムシ③


Alpsdake, 2017, CC BY-SA, 改変



ヒルが出す  
ヒルジンのせいで  
血が止まらなくなる!

## ヤマビル

 20~80 mm


 日陰・落ち葉の下


症状 | 痛くない長時間の出血

対処 | 塩や酢で剥がしたあと、  
流水でしっかり洗う。  
化膿したら病院へ。

## アオバアリガタハネカクシ

別名は **やけど虫**

 60~70 mm

 葉・石の上

症状 | 体液を触ると  
**ヤケド**のような水ぶくれ

対処 | 体液がついたら、  
流水で洗う。  
皮膚科の診療を推奨。



Dluogs, 2013, CC BY-SA, 改変

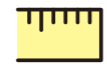
# キノコ




Atsushi Nakajima, 2022, 改変

触れるだけで有害なキノコは  
カインタケだけ！

## カインタケ

 30~200 mm

 枯木・倒木

症状	触れたら皮膚炎
	食べたら多臓器不全・死
対処	触れたとき →大量の水で洗って病院
	食べたとき →すぐに救急車を呼ぶ。 時間との勝負。

# あなたが調べたキケンな生き物①



 mm  


症状

対処

## 生き物の擬態(ぎたい)の話

毒をもつ生きものは「さわるとキケン！」と相手に伝えるために、体の色が赤や黄色など目立つ色をしていることがあります。生物学では、これを警告色(けいこくしょく)とよびます。そんな中、毒をもたないのに警告色をもち、毒のある生きものになりすまして生きている生き物がいます。このなりすましをベイツ擬態といいます。たとえば、ハチに似た見た目をしているアブがあげられます。また、毒をもつ生き物どうしが似た見た目になることもあり、これはミュラー擬態といいます。どちらも「敵からにげる」ためのすごいワザです。



Didier Descouence, 2013, CC BY-SA, 改変  
毒をもたないフデヒメヒラタアブ

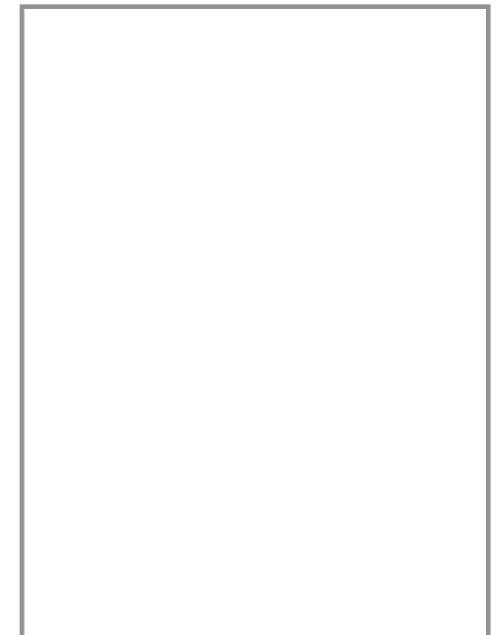
マネをされたハチの気持ちを  
考えてみましょう！



 mm  


症状

対処



# キケンな生き物と私たち



- この冊子で紹介した生き物たちは、どれも私たち人間にとって、キケンとされる存在です。しかし、彼らは人をおそうために生きているわけではありません。

自分のために、**それぞれの方法で生きているのです。**

- だからこそ、むやみに怖がったり、見つけてすぐ駆除したりするのではなく、まずは「どうすれば出会わずにすむか」「どうやって距離をとるべきか」を考えることが大切です。
- **すべての命に敬意を払いながらかくしこく、しんちょうに、そしてやさしく生きていきましょう。**

